

2026年6月26日

— 「飛鳥・藤原の宮都」世界遺産登録を応援！ —

ラッピング列車「飛鳥・藤原^{しじん}四神ライナー」を運行

～ 特急「さくらライナー」を装飾します ～

近鉄は、2026年8月1日（土）から、大阪阿部野橋駅と吉野駅を結ぶ特急「さくらライナー」に、世界遺産登録を目指している「飛鳥・藤原の宮都」の史跡等をモチーフにした装飾のラッピング列車を運行します。

列車の愛称は「飛鳥・藤原^{しじん}四神ライナー」で、高松塚古墳やキトラ古墳の石室壁画に描かれた、墳墓や宮都を守る東西南北の霊獣「四神」※等を車両の内外に装飾しています。

ラッピング列車「飛鳥・藤原^{しじん}四神ライナー」の運行により、世界遺産登録を目指す飛鳥・藤原エリアがさらに盛り上がり、より多くの方々に足を運んでいただければと考えています。

詳細は別紙のとおりです。

※「四神」とは、東の青龍、西の白虎、南の朱雀、北の玄武の総称です。



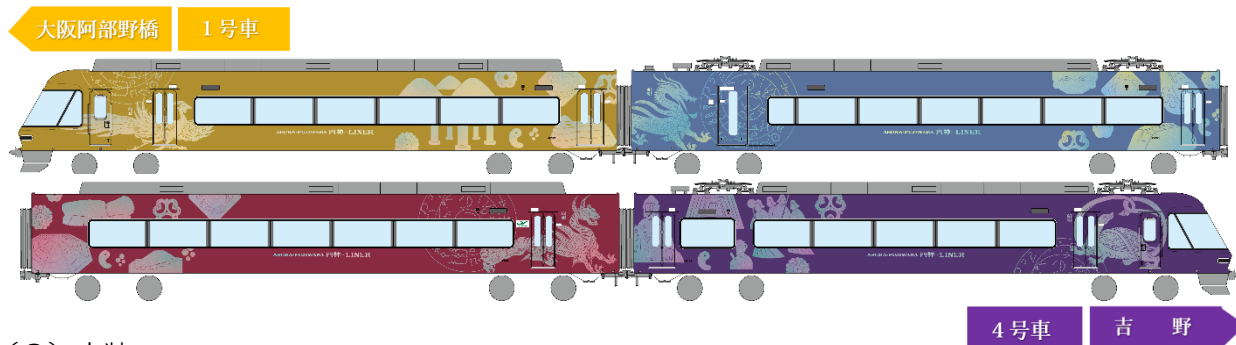
「飛鳥・藤原^{しじん}四神ライナー」イメージ

◆ラッピング列車「飛鳥・藤原^{しじん}四神ライナー」について

1. 愛称：「飛鳥・藤原 四神ライナー」
2. 運行期間：2026年8月1日（土）から当分の間
3. 運行区間：近鉄南大阪線・吉野線 大阪阿部野橋駅～吉野駅
4. 対象車両：さくらライナー 1編成（4両）
5. 特長：特急「さくらライナー」の外装・内装に、四神や世界遺産候補「飛鳥・藤原の宮都」の構成資産、現地ののどかな景観などのイメージがデザインされています。
6. 特設サイト：<https://www.kintetsu.co.jp/zigyau/shijinliner/>
※特設サイトにて運行予定ダイヤを掲載します。
7. イメージ

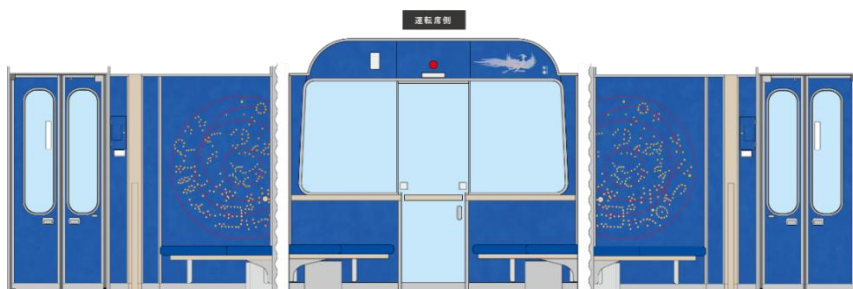
(1) 外装

1号車から順に「時を重ねた飛鳥のいま」「謎めく石物」「多彩な古墳」「飛鳥時代の栄華」というテーマのもと、4号車までそれぞれの車両に異なる装飾を施しています。



(2) 内装

1号車と4号車の展望デッキには、古墳の石室をイメージした装飾を施し、額面には、釘に糸を張り巡らせて模様や絵を作る「ストリングアート」の作家・美崎久美子さんの作品を展示しています。客室内では、天井付近への装飾の他、枕カバーを号車ごとに新しくデザインしています。



展望デッキ イメージ



枕カバー イメージ

(以上)